

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.77

調査者	松木 良介、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年11月24日
情報ソースの調査日	2021年5月19日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021年5月25日
日本語タイトル	COVID-19 中およびそれ以降の心不全入院、管理、およびサービスに関する識見
情報ソース	Charman SJ, et al. Insights into heart failure hospitalizations, management, and services during and beyond COVID-19. ESC Heart Fail. 2021 Feb;8(1):175-182. doi: 10.1002/ehf2.13061.
情報のカテゴリー	心疾患全般、包括的心リハ
発信地域	英国(ヨーロッパ)
URL	https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7753441/
要約	<ul style="list-style-type: none"> • COVID-19 中およびそれ以降の心不全入院、管理、および患者をサポートのためのケア経路に関する情報を整理する。以下①～⑤の視点から、整理されている。 <ol style="list-style-type: none"> ① 心不全入院:COVID-19 以降、ヨーロッパでは、心不全入院は減少したが心不全入院患者の重症度は高くなっていた。 ② COVID-19 中の心不全患者のニーズと支援:パンデミック中は感染しないことが大切であった。しかし今は、心不全患者の支援を再開する時期に来ている。 ③ リハビリテーションサービス:遠隔医療による心臓リハビリテーションサービスは成功している。その再設計が必要である。 ④ 遠隔医療フレームワークへの移行:心不全遠隔医療の標準化は不可欠である。それにより、患者のケアを改善し、医療サービスのコストを削減できる可能性がある。 ⑤ 証拠の必要性:新しい心不全ケアに関する研究が必要である。 • 新規発症および既存の心不全患者は、診断と将来の予後を理解し、必要に応じて適切なプラットフォームを使用して支援とサポートを求める必要がある。心不全サービスの再調整と遠隔医療およびバーチャル医療の使用には大きな可能性がある。